

(仮称) 北海道 SDGs 推進ビジョン (原案) に対する提案

○道民それぞれが持つ背景や大切にしたいことは様々

- ・ 北海道 SDGs 推進懇談会の構成員有志で行った北海道のビジョンを考えるミーティングでは、5つのグループで意見の違いがみられた。また、EPO 北海道主催「(仮称) 北海道 SDGs 推進ビジョン (原案) パブリックコメントワークショップ」においても多様な意見が寄せられた。
- ・ ミーティングの中で、道庁が提案するめざす姿「世界の中で輝きつづける北海道」という意見は1つもなかったことから、全ての道民がそれに賛成するとは言えない。
- ・ ビジョンであるからには、多様な背景を持つ関係者から意見を伺い反映させることが、SDGs が示す「誰ひとり取り残されない」に合致し、SDGs を踏まえたビジョンと言える。

○现阶段ですべての修正は困難が伴うと考えられるため「4. ビジョンの推進 (3) 推進管理」について下記文章への変更を提案する。

ビジョン (原案) 原文	提案文 (下線部)
・ 道内における様々な主体の主な取組状況は、推進ネットワークの活動などをとおして把握し、広く共有するとともに、道の広報ツールなどを活用し、道内外に情報発信していきます。	・ (2) 推進手法<道としての取組>へ移動
・ 道の取組については、政策評価を通じ、SDGs 関連施策の推進状況を取りまとめ、公表します。	・ 道の取組については、政策評価を通じ、SDGs 関連施策の推進状況を取りまとめ、公表します。
・ ビジョンで設定した指標を用いて、進捗状況のフォローアップを行います。なお、指標については、道の各種改訂等に伴い、必要に応じて見直します。	・ ビジョンで設定した指標を用いて、進捗状況のフォローアップを行います。なお、指標については、道の各種改訂等に伴い、必要に応じて見直します。
・ ビジョンは、経済社会情勢の変化や SDGs に関する道内外の動向などを踏まえ、多様な主体の参画の下、幅広く意見を伺いながら、必要に応じて見直します。	<p>・ ビジョンは、経済社会情勢の変化や SDGs に関する道内外の動向などを踏まえ、<u>1年に1回ビジョンの進捗状況を道民へ報告し、見直しのための意見交換の場を設けます。</u></p> <p>・ <u>意見交換の際には、国際連合が提唱するメジャーグループ「女性」「子どもと若者」「先住民」「NGO」「地方自治体」「労働者・労働組合」「ビジネスと産業」「科学技術コミュニティ」「農業従事者」、また、その他の利害関係者「コミュニティ」「ボランティアと財団」「移民と家族」「お年寄りと障がい者」を対象とした意見交換の場を振興局ごとに実施します。</u></p> <p>・ <u>これらの意見を踏まえ2021年にビジョンの目指す姿や各種項目や指標の見直しを行います。</u></p>

2030年のほっかいどうを考える Youth's Meeting

[日時] 2018年10月10日(水) 18:30~20:30

[場所] 札幌エルプラザ公共4施設 2階 会議室3・4/
旭川医科大学図書館内

[参加者] 24名(うち旭川サテライト参加者3名) 5グループ

[主催] 北海道地方ESD活動支援センター

[共催] (公財) さっぽろ青少年女性活動協会市民参画部市民参画課事業係
(札幌市男女共同参画センター指定管理者)

[協力] 北海道、学生リビング穂と葉

[内容] (1) 開会

(2) ワークショップ「2030年の自分、ほっかいどうを考える」

- ・2030年、ほっかいどうに増やしたいこと・もの
- ・2030年、ほっかいどうでなくしたいこと・もの
- ・2030年、ほっかいどうで変わらずにあってほしいこと・もの

(3) 閉会



「Join us なほっかいどう」

間口を広げることで誰もが入りやすい環境をつくり、それが活気につながり、生活の質を高めていくことにつながっていく。

増やしたいこと・もの	「多様性がある」ことを認めあえる社会、欲求&サスティンブルなアクション、人とのふれあい、多言語、雪でも冬でも「楽しい」と思えることをする!、雪をもっと有効活用、雪のない地域に送るなど、除雪機の普及・充実、自動運転、エコモビリティ→ムダな使用をなくし新たな技術を、電子マネー、仕事とのバランス、ライフワーク、時間帯、省エネをもっとポジティブに、紙を使わない→もったいない? 電子機器の発展?、1つのツールに頼りすぎない、近所のふれあい(地域のつながり) あいさつだけでも、道内でも地域差あり、世帯数が少ない地域の強いつながりをつくりたい、地球市民意識、郷土愛、マイノリティ教育支援(制度レベルだけでなくボランティア・草の根)、北海道にいたら北海道の歴史がわかる教育体制
なくしたいこと・もの	貧困・ネグレクト←社会・地域のつながりがあれば減らせる?、食品ロス(震災を受けもとうまくまわせそう)、汚染(人口減少はそれに対してはポジティブ?)、雪で“外遊び”をしなくなる精神、雪かき(ロードヒーティングはいい)→勉強や

	読書など他の時間がへる→地域のつながりがなくなる、教育・学力格差、車の運転、“すすきの”の閉鎖的な感じ→クリーンなすすきのに！、若者が“すすきの”で働かなければならない状況、人口減少、時間外手数料反対！
変わらずにあってほしいこと・もの	QOL・活気・お祭り、おいしい食べ物、安心・安全、承認欲求・所属欲求・生存欲求、仲良く楽しい、おいしい、自然、災害時の対応力、市民意識、親切心・暖かさ、方言・アイヌ語、文化、寛容さ

<p>「新・フロンティア精神 北海道愛を伝えよう！なほっいどう」 閉じこもりがちな道民、北海道愛が強すぎる道民が今必要なことは発信。</p>	
増やしたいこと・もの	プールの施設、空の見える場所、オーガニックの店、札幌などで遊べる場所、観光客をうけいれる環境、人に優しい観光、誰もが安心できる場所、同世代とつながる場、いろいろな人とのつながり、大学 or 相当の学び場、外へ開かれた社会、おもしろい人（お笑いとかではなく）、表面だけじゃなくてちゃんと考えられる人、子ども、若い人（農村とかに）、安心して育児ができる場所、笑顔、仕事の幅・選択肢、中小企業の危機感、自然や食以外のブランド、交通の便、伝統文化を残す運動、戦争のこと（過去のこと）に興味がある若者、国際協力に興味がある若者、地産地消
なくしたいこと・もの	貧困、格差、場所・地区での区切り、北方領土問題、災害、交通事故、高齢化社会、空き家、将来を考えない若者、農家の離農、人手不足、荒れ地、孤独死、病気
変わらずにあってほしいこと・もの	ご近所付き合い（雪かきゆえに・・・？）、フロンティア精神、「新しい」を受け入れる環境、飲み屋街、北海道出身の芸能人、助け合う空気、北海道ブランド、北海道に憧れを持つ人、北海道愛、美味しい食べ物・店、農業、自然、自然と親しむ場、星がきれいに見える空、雪、北大

<p>「道民の優しさと自然と食の豊かな北海道」 道民って優しい、自然を守りたい、美味しいものを残したい、豊かな北海道へ。</p>	
増やしたいこと・もの	情報が豊かなシステム、正確な情報、学校で料理する機会、フェアトレードを買える場所（ワゴン・札幌駅）、エネルギーについて考える人たち・話せる場所、女性が働きやすい会社、より実践的な ESD、野生生物の保護、北海道の生物多様性を理解してくれる人、狩猟ができる人々、農業体験・担い手
なくしたいこと・もの	ゴミ問題、待機児童、ムダな電力使用・看板のネオン、コンビニ・スーパーでのムダな電力、コンビニのご飯・ファストフード・カップ麺などの安い食、何も考えずにおかれた太陽光パネル・風力発電、外来種問題、インフルエンザなどの問題、遡上がしづらい川、除雪問題、過疎化による人口問題、フードロス
変わらずにあってほしいこと・もの	北海道について考える場所・機会、日本食を食べる！、北海道の美味しい食べ物、水源、電車やバスなどの公共の交通機関が豊か、今絶滅しそうな在来種、雪、ウィンタースポーツ、アウトドア、沿岸バスなど強い交通網、海・川・食・山・動物・

	要は“自然”、コミュニケーションツール、道民の方の優しさ・ワイルドなマインド、助け合いの心、商店街のコミュニティ
--	----------------------------------------------------------

「なまらいいっしょ北海道」	
北海道を一人ひとりが知りつくしていいよって言える、誰もも行きたいって思ってくれることが、自らの向上と愛がある人が増える北海道へ。	
増やしたいこと・もの	自分ごとと捉える人が増加すること、防災意識の向上、ゴミ分別意識、若年層の投票率、農業の生産者と消費者がつながる仕組みづくり、お母さんが安心して働いていくための子育て支援システムづくり、スピード、積極性と持続性、人口、若い人の希望となる職場環境、声を聞く場づくり、コミュニケーションがとれる場所、いろいろな地域の人と関わる機会、生物多様性を考える場、自然環境を活用した再生エネルギー、シカ食品、地熱エネルギー
なくしたいこと・もの	保守的行動、ヨソ（国など）に頼りすぎる体質、トップダウンで決定するしくみ、問題を先送りする意識、あいまいさ、満足、ムダな経費、情報、ゴミ、孤独死、観光で生き物が減ること、環境破壊につながる事、物
変わらずにあってほしいこと・もの	穏やかさ、心の広さ、おおらかさ、北海道を愛する心、地元愛の自信を持つ、豊かさ、人当たりの良さ、自然環境、四季、ウィンタースポーツ、雪、空気、夏のすずしさ、自然、農村風景、美味しい食べ物（スープカレー!!!）、食料自給率の維持

「北海国」	
SD（持続可能な開発）を考えたら自立した経済圏の確立、北海道の持続性が必要であり、北海道を国として考えることが必要。	
増やしたいこと・もの	冬に動かない環境、VR 飲み、VR 北海道、地下都市、情報インフラ、ドローン、経済圏、地下鉄、企業の本社、観光客、チャレンジャーを求める企業、研究開発拠点、実験都市、新しい教育、新しい価値、コンパクトシティ、ベーシックインカム、融雪道路、無人都市、姉妹都市、イベントスペース（ステキな）、無人農業、おしゃれ、フェス、クラブ、若者、楽しいイベント、レジャー（ニセコ的な）
なくしたいこと・もの	たばこ、年功序列、ムダな教育、不必要な行政、ムダな医療、雪、雪かき、冬は家の中精神、道路の雪、バスの遅延
変わらずにあってほしいこと・もの	来るもの拒まぬ精神、耐用性、一次産業、酪農、自然、多様性、観光資源、夜景、旭川空港、美食、アイヌ、計画性

□実施概要

「（仮称）北海道SDGs推進ビジョン（原案）」パブリックコメントワークショップ

日時：2018年10月2日（火）18:30～20:30

会場：札幌エルプラザ2階 会議室1・2

主催：環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）

共催：（公財）さっぽろ青少年女性活動協会 市民参画部市民参画課事業係
（札幌市男女共同参画センター指定管理者）

協力：北海道

プログラム

18:30 開会・参加者自己紹介

18:50 「（仮称）北海道SDGs推進ビジョン（原案）」について
北海道総合政策部政策局計画推進課SDGs推進グループ
渡邊 訓男氏

19:30 ビジョンについて話し合おう！
※参加者一人ひとりがパブコメの機会を活用することをねらい、
意見の素材を見つけ出すための対話を行いました。

20:15 まとめ

20:30 閉会

○「（仮称）北海道SDGs推進ビジョン（原案）」パブリックコメントの詳細は
下記をご覧ください。

北海道（総合政策部政策局計画推進課）のホームページ

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/sks/SDGs/vision-dominiken.htm>

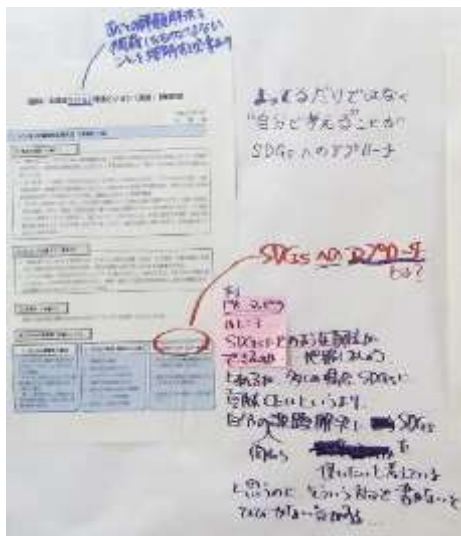
□実施状況（写真）



「(仮称)北海道SDGs推進ビジョン(原案)」概要版 P1

1 ビジョンの基本的な考え方

- ・「SDGs」は、すべての課題解決を網羅したものではないことを理解する必要あり
- ・まっているだけでなく、“自分で考える”ことがSDGsへのアプローチ
- (4) SDGsの概要等
 - ・「③SDGsへのアプローチ手法」のSDGsへのアプローチとは？
 - ・本文P8のマッピングのところに「SDGsにどのような貢献ができるのか・・・把握しましょう」とあるが、多くの場合、SDGsに貢献したいというより、自分の関わる課題解決SDGsを使いたいと考えていると思うので、そういう方向で書かないとひびかない気がする

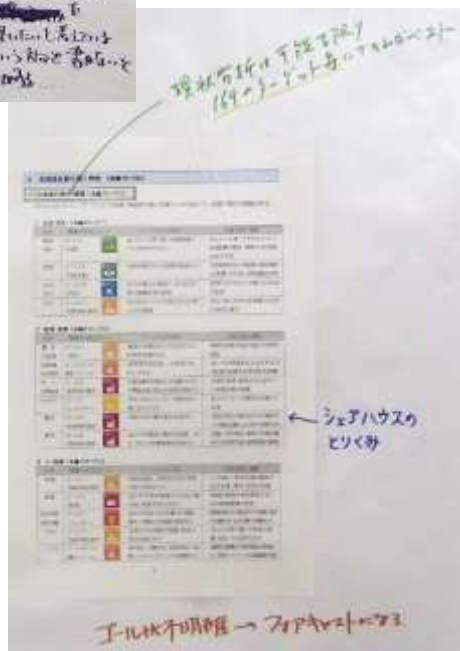


「(仮称)北海道SDGs推進ビジョン(原案)」概要版 P2

2 北海道取り巻く現状

(1) 北海道の現状・課題

- ・現状分析は可能な限り169ターゲット枚にできればベスト
- ・ゴールが不明確→フォアキャストになる
- ・「②経済・産業 観光」シェアハウスのとりくみ
- ・目標達成へのコストの視点



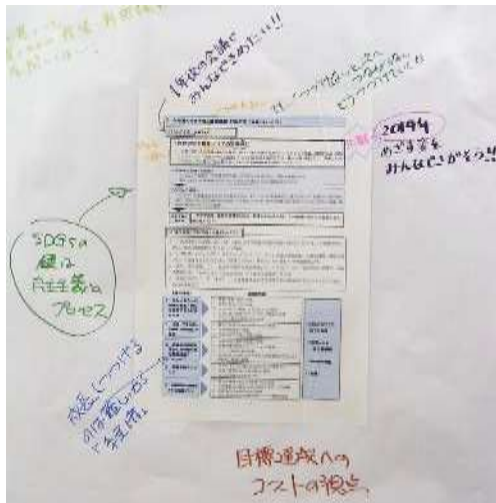
「(仮称)北海道SDGs推進ビジョン(原案)」概要版 P3

(2) 世界に誇れる北海道の価値と強み

- ・強みに基づいて推進のための戦略・戦術論を展開してほしい
- ・いつまでに、何を、どれぐらい達成するのか？どこが、どんな指標でチェックするのか。

- 「」内は概要本文を引用
- 「・」模造紙に書かれたコメントや質問を記載

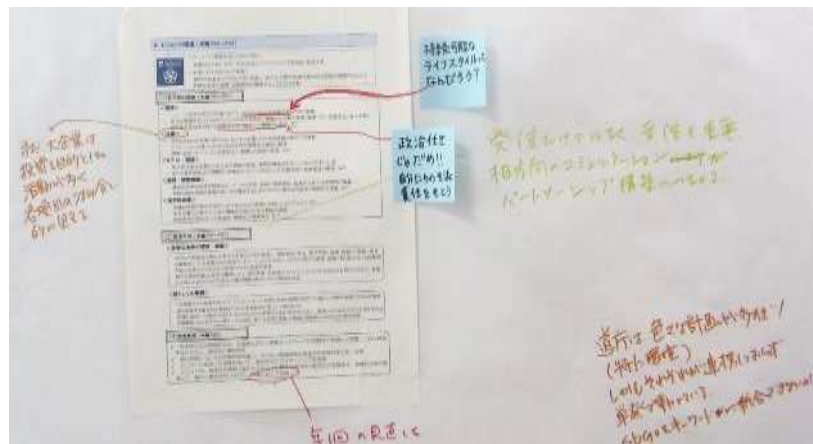
- 「」内は概要本文を引用
- 「・」模造紙に書かれたコメントや質問を記載



「(仮称)北海道SDGs推進ビジョン(原案)」概要版 P4

3.北海道のめざす姿と優先課題・対応方向性

- ・2019年北海道のめざす姿をみんなでさがそう！！
 - ・SDGsの鍵は民主主義のプロセス
 - ・目標達成へのコストの視点
- (1)めざす姿
- ・1年後の会議でみんなで決めたい！
 - ・「世界の中で輝きつづける北海道」はつかれる。ぴんとこない！←でも、「つづけ」ないと次へつながらない。どうつづけていくのか。
- (2)優先課題と対応方向
- ・「Ⅲ 北海道野価値を活かした持続可能な経済成長」は、成長しつづけるのは難しいから「経済」



「(仮称)北海道SDGs推進ビジョン(原案)」概要版 P5

4 ビジョンの推進

- ・道庁はいろいろな計画が多すぎ！(特に環境)しかもそれぞれが連携しておらず単発で動いている。SDGsをキーワードに統合できないか。
- (1)各主体の取組
- <道民>
- ・持続可能なライフスタイルってなんだろう？
 - ・政治任せじゃだめ!!自分たちの生活に責任をもとう
- <企業>
- ・まだ、大企業は投資を目的とした活動が多く、各項目のつまみ食いのみえる
- <地方自治体>
- ・発信だけではなく受信も重要。相方向のコミュニケーションがパートナーシップ構築につながる
- (3)推進管理
- ・年に1回の見直しを